

一般社団法人国際心理支援協会

第4回オープンダイアログ・基礎トレーニングコース 2026-2028(第2版)

※初版からの加筆修正点:スケジュール表に時間帯の記載がなかったため追記しました。

主催:一般社団法人国際心理支援協会(IPSA)

【はじめに】

オープンダイアログは、家族療法から発展したアプローチのひとつです。統合失調症をはじめとした様々な問題、精神症状、人間関係の悩みへの有効なアプローチとされています。

その特徴的な方法から、日本では実践が難しいのではないかと声が多く聞かれますが、日本の文化や制度、臨床に合う形でオープンダイアログのエッセンスを用いることは可能だと考えられます。当然、フィンランドと日本における精神医療システム、各種法制度、福祉サービス、その他資源の活用の仕方や国民の認知は大きく異なり、「フィンランド人と日本人の国民性は似ている」とされながらも、当然異なる部分も多く存在します。では、日本においてどのような形でオープンダイアログそのもの、あるいはオープンダイアログの中核となっていることを、医療や福祉、心理支援の中に取り入れていけるのでしょうか。

本トレーニングにおけるトレーナーの浅井(国際心理支援協会)は、元々家族療法を専門として臨床を20年近く行っており、2016年12月から始まったオープンダイアログのトレーナーズトレーニングの課程を2018年9月に修了したことから、アジアでは初めてのオープンダイアログの公式国際トレーナーになりました。

その後、日本(東京・大阪・オンラインとのハイブリッド)での基礎トレーニングを第1期～第3期まで、またインドのチェンナイでの基礎トレーニングを第2期～第4期まで行い、2026年以降は同じくインドにて、トレーナーズトレーニング、日本では2025年12月には第3回のオープンダイアログ基礎トレーニングが終了したことから、2026年から第4回のオープンダイアログ基礎トレーニングを行うこととなりました。今後、中国でもトレーニングを行っていくことから、さらなる発展が見込まれます。

オープンダイアログのエッセンスを活かし、日本での個人臨床・家族臨床・地域臨床、そして日常の人間関係をよりよくしていきますか？

【受講対象者と応募方法】

対人援助職としてメンタルヘルスに関わっており、秘密保持義務を守ることのできる方。オープンダイアログやダイアログ実践に共感を示し、ともにオープンダイアログを実践・広めていく熱意をお持ちの方。必ずしも医療領域や心理領域、福祉領域である必要はなく、産業や教育領域でも受講が可能ですが、トレーニング機関中に実践を継続できることを条件とします。なお、同じ職場で2名以上の複数人参加が望ましいと考えています(必須要件ではありません)。

第4回オープンダイアログ・基礎トレーニングコース 2026-2028 応募フォーム

<https://ws.formzu.net/dist/S30992420/>

【定員及び最少催行人数】

定員:40人(最少催行人数:25人*)

*最少催行人数を下回る場合、本トレーニングは延期となります。その場合、お振込をすでにいただいている方に対して、振込手数料も含め全額返金とさせていただきます。

【応募期限および選考】

募集開始:2026年1月16日～

応募期限:一旦の応募締切を2026年4月15日としますが、期限後にご希望される場合は、info@medi-counseling.comまでご相談ください。本件に関するお問い合わせもこちらまで。

選考方法:オープンダイアログに対する熱意や、何らかの形でオープンダイアログを含むダイアログ実践を職場などで行うことができる方かどうかを基準にさせていただきます。選考については順次行い、参加の可否については基本的にメールでお知らせいたします(メールが届かない場合はお電話で差し上げることがあります)。

お振込み期間:選考結果確定時～2026年4月16日まで

キャンセル期間:下記、キャンセルポリシーをご確認ください。

【特徴】

- ・アジア初(日本初)のオープンダイアログ国際トレーナーによるトレーニング。
- ・東京+オンラインでのハイブリッド開催(日程によって対面かオンラインかが異なります)。
- ・オープンダイアログの源流となった家族療法や、身体性(embodiment)、リフレクティングについても、基礎からしっかりお教えします。
- ・原則的に、土日祝だけで修了可能とします。
- ・一般社団法人国際心理支援協会認定の修了証を発行。

*現在、オープンダイアログの国際ネットワークにて、国際認定資格を作るかどうかについて検討がなされています。もし国際認定資格が発行されることになった場合は、本コースの修了者にも基礎トレーニングコース(foundation training course)と同等にみなされるようにしたいと考えております。

第4期オープンダイアログ基礎トレーニング

オンラインか実地か	日程	テーマ	日数	時間数(h)	時間帯
実地	2026年6月14日	オープンダイアログ概論&ダイアログ体験	1日	5	10時半～16時半
実地	8月1,2日	家族療法/SFA(解決志向アプローチ)とダイアログ	2日	10	10時半～16時半
オンライン	10月24,25日	ナラティブ・アプローチとダイアロジカル・アプローチ	2日	10	10時半～16時半
実地	11月28,29日	リフレクティングと身体性	2日	10	10時半～16時半
オンライン	2027年2月6,7日	AD(未来語りのダイアログ)とED(早期ダイアログ)	2日	10	10時半～16時半
実地	3月20,21日	ダイアログ練習+講義(対話式)	2日	10	10時半～16時半
実地	5月29,30日	FoO(原家族ワーク)	2日	14	10時～19時
オンライン	6月19,20日	SV(スーパービジョン)	2日	10	10時半～16時半
実地	10月30,31日	FoO(原家族ワーク)	2日	14	10時～19時
オンライン	12月4,5日	SV(スーパービジョン)	2日	14	10時～19時
実地	2028年2月27日	ダイアログ練習+講義(対話式)	1日	5	10時半～16時半
実地	3月13,14日	FoO(原家族ワーク)	2日	14	10時～19時
オンライン	4月22,23日	SV(スーパービジョン)	2日	14	10時～19時
実地	6月11日	ダイアログ練習とクロージング	1日	5	10時半～16時半

※FoOとは、Family of Origin work(原家族ワーク)のことで、受講生自身の生まれ育った家族に関してルーツを掘り下げていきます。
 ※SVとは、Supervision(スーパービジョン)のことで、受講生が行っているダイアログ実践に関して対話的かどうかを見ていきます。

※上記時間帯は予定。

【トレーニング日程(原則、土日祝 10時～19時の間の曜日・時間帯で実施予定)】

* 日程の決定後は、原則日程変更は行わない予定ですが、万が一変更が生じる場合には、応募者全員にメールにて通知いたします。コース途中での日程変更があった場合も可能な限り不利益が生じないように取り計らいます。

【現時点での予定トレーニング日程】

※後日、多少の変更が加えられることがあります。

※東京(対面・会場開催)とオンライン(Zoom 開催)での受講とします。

※オンデマンド配信できる知識的な内容に関しては、可能な限りレコーディングした内容を共有し、後日再視聴を可能とする予定です(視聴期限は受講期間内～2028年6月末ごろまでを予定)。

【講師】

○浅井伸彦(一般社団法人国際心理支援協会 代表理事、株式会社 Cutting edge 代表取締役)

アジア初の認定オープンダイアログ国際トレーナー、臨床心理士、公認心理師、家族療法・トラウマセラピスト。オープンダイアログ国際トレーナーズトレーニングを2016年～2018年にフィンランドで受講し、トレーナーに。これまで、オープンダイアログ基礎トレーニングコースを日本で第1回～第3回までの計3回、インドのチェンナイで計3回行ってきた。2026年～2028年では、同じくインドのチェンナイでオープンダイアログ・トレーナーズトレーニングをヤーコ・セイックラ、ミア・クルッティ、ピナ・リデンテと行う予定。

主な著書に「はじめてのオープンダイアログ(編著、北大路書房)」、「オープンダイアログとコラボレーション(編著、遠見書房)」、「はじめての家族療法(編著、北大路書房)」、「あたらしい日本の心理療法(編著、遠見書房)」などがある。

○白木孝二(Nagoya Connect & Share 代表)

臨床心理士、RDI® Program Certified Consultant。

1991年 Brief Family Therapy Center(Milwaukee, WI.)の Residential Training 修了。2005年 Connections Center(Houston, TX.)より RDI® Program Certified Consultant 資格取得。2016年より、Open Dialogue Network Japan(ODNJP)運営委員、2017年 ODNJP オープンダイアログ・トレーニング基礎コース修了。IPSA(国際心理支援協会)オープンダイアログ基礎トレーニングコース(第1回～第3回)に講師として参加。

主な著書にオープンダイアログとコラボレーション(遠見書房)、はじめてのオープンダイアログ(北大路書房)、分担執筆として「ダイアログ実践の哲学と臨床姿勢」in オープンダイアログ 実践システムと精神医療、石原、斎藤 編(東京大学出版会)、「ダイアログ」in 臨床力アップのコツ:ブリーフセラピーの発想、日本ブリーフサイコセラピー学会編(遠見書房)がある。また訳書(共訳)には、「精神科診断に代わるアプローチ PTMF L・ジョンストン、M・ボイル著(北大路書房)」「サイコシスのためのオープンダイアログ N・パットマン、B・マーティンゲール編(北大路書房)がある。

その他、ゲスト講師を予定。

【場所】

東京: リロの会議室 コンフォート新宿など(ほか、東京都23区内[新宿・渋谷付近]の予定)

オンライン: Zoomを使用。

【受講時間】

約145時間

【受講料/振込先】

期間2年間に付き、40万円(+消費税)

振込先は、受講が決定した方のみお知らせします。

【受講料の支払いについて】

一括払い、あるいは分割払いからお選びいただけます。現時点ではクレジットカードはご利用いただけません。銀行振込のみとなります。分割払いを希望される方には、後日お支払い方法や時期・回数(2回払い・4回払い)についてのご相談をお受け付けします。

【使用テキストと参考文献について】

・配布資料: トレーニング期間に都度配布します。

・使用テキスト: 「はじめての家族療法(北大路書房)」「はじめてのオープンダイアログ(北大路書房)」「オープンダイアログとコラボレーション(遠見書房)」「開かれた対話と未来 今この瞬間に他者を思いやる(医学書院)」「オープンダイアログ(日本評論社)」「リフレクティング: 会話についての会話という方法(ナカニシヤ出版)」「リフレクティング・プロセス(新装版)-会話における会話と会話(金剛出版)」

・**推薦書籍(購入必須ではありません)** :「トム・アンデルセン 会話哲学の軌跡・リフレクティング・チームからリフレクティング・プロセスへ(金剛出版)」「感じるオープンダイアログ(講談社現代新書)」「オープンダイアログ 私たちはこうしている(医学書院)」「パーソンセンタード・アプローチとオープンダイアログ-対話・つながり・共に生きる」「サイコーシスのためのオープンダイアログ(北大路書房)」

※資料代は受講料に含まれますが、全国出版の書籍については各自全国の書店や Amazon などでお買い求めください。

【受講申込期限と受講者の選考方法】

受講者の選考については、オープンダイアログに対する熱意や、何らかの形でオープンダイアログを含むダイアログ実践を、職場などで行うことができる方かどうかを基準にさせていただきます。

【キャンセルポリシー】

2026年5月15日までにキャンセルのご連絡をいただいた場合、銀行振込手数料を除いた全額をご返金します。2026年5月16日～末日までにご連絡をいただいた場合は、銀行振込手数料と選考&事務手数料38,000円を除いた全額をご返金いたします。2026年6月1日以降についてはご返金いたしかねますので、どうぞご理解の上お申し込みのほどよろしくお願ひ申し上げます。分割払いを希望されていた方に関しても、原則として不足分のお支払いをお願いすることとなりますのでご容赦のほどよろしくお願ひいたします。

【修了要件】

原則 80%以上の出席。やむを得ず出席が出来ない場合には応相談。

ただし、講義科目について収録している分は、欠席された場合にも御自身で見ただけのようにするため、必ず視聴のこと。ロールプレイ部分や SV(スーパーヴィジョン)については不足が多い場合は、補講(別途有料の予定)によって適切に補われた場合に修了を認めます。

【主催者】

一般社団法人国際心理支援協会

【お問い合わせ】

TEL:06-6926-4544(MEDI 心理カウンセリング大阪[国際心理支援協会のカウンセリングオフィス])

E-mail:info@medi-counseling.com